

山形警察署・寒河江警察署・**山形県警交通指導課へ「感謝状」を贈呈**

～自動車整備工場による保険金詐欺事件に対して～

日本損害保険協会東北支部（委員長：西山 喜和・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 東北担当）では、この度、保険金詐欺事件で犯人を検挙した山形警察署、寒河江警察署および山形県警察本部交通部交通指導課へ感謝状を贈呈しました。

1月28日（水）に山形県損害保険防犯対策協議会総会で行われた贈呈式には、山形警察署の塚本 憲明署長、寒河江警察署の鈴木 龍 課長および山形県警察本部交通指導課の矢野 健一 課長が出席し、山形県損害保険防犯対策協議会の明石 昌樹 会長（三井住友海上火災保険株式会社 山形支店長）から、「粘り強い捜査により検挙され、損害保険事業の健全な運営に多大な貢献をいただいた」として感謝状が手渡されました。

本事案は、2024年3月から12月の間に複数回、顧客の車の修理代金を水増しした、虚偽の見積書を作成し、損害保険会社から計62万円をだまし取ったものです。保険会社からの相談を受け、山形警察署、寒河江警察署および山形県警察本部交通指導課が捜査を行い、2025年11月～12月にかけて、自動車整備工場に勤務する2名を逮捕しました。

受賞者を代表して、山形警察署の塚本 憲明 署長から、感謝状の贈呈に対し謝意が示されるとともに、今後とも事件の検挙に向けて鋭意取り組んでいきたいとコメントがありました。明石会長からは、保険金詐欺は巧妙・悪質化し、損保各社だけでは見抜くことが困難な事案も増えてきており、県警等関係機関の協力が必要であることから、引き続きの連携について依頼がありました。

当支部は、今後も警察等と連携しながら、不正請求の排除に向けた活動に取り組むことで、損害保険事業の健全な運営を行っていきます。

*当日は、山形新聞社からの取材がありました。



贈呈の模様



集合写真（左から明石会長、塚本署長、鈴木課長、矢野課長）